

# パーミクロンガードL

## 特長

1. 湿潤面での、付着が良好です。
2. 刷毛により1回塗りで500 $\mu$ の厚膜が得られます。
3. 無溶剤タイプなので、有機溶剤中毒に対する安全性に優れています。
4. 耐水・耐海水性に優れています。

## 性状

	外 観	組 成	混合比 (重量比)	密 度 (23℃)	可使時間 (1 kg)		硬化時間 (500 $\mu$ 厚)	
主剤	ペースト状	エポキシ樹脂	1	1.50 $\pm$ 0.10 [g/cm <sup>3</sup> ]	10℃	60分	10℃	20時間
硬化剤	ペースト状	変性ポリアミン	1		23℃	45分	23℃	16時間
					30℃	20分	30℃	12時間

## 性能

※コンクリート破壊

試験項目	試験方法		結果
接着性	鋼板	建研式 サンドブラスト板	乾燥面 1.5N/mm <sup>2</sup> 以上 湿潤面 1.2N/mm <sup>2</sup> 以上
		建研式 コンクリート平板	乾燥面 ※1.5N/mm <sup>2</sup> 以上 湿潤面 ※1.2N/mm <sup>2</sup> 以上
引張せん断接着強度	JIS K 6850 軟鋼板		10MPa 以上
引張強度	JIS K 7161		10MPa 以上
伸び率	JIS K 7161		5%
硬度	JIS K 7215		HDD 75以上
耐衝撃性	JIS K 5600-5-3 デュボン式 1/2"-500g 50cm		50cm合格
塩水噴霧試験	1,000時間		一般部異常なし
冷熱サイクル試験	(60℃ $\times$ 6H-0℃ $\times$ 6H) / 1サイクル 50サイクル		異常なし
3%食塩水浸漬	1年 (23℃)		異常なし
水道水浸漬	1年 (23℃)		異常なし

(N/mm<sup>2</sup>=MPa)

## 荷 姿

5 kg/セット	主 剤 2.5kg 硬化剤 2.5kg
色	ブルー、グレー、クロ



## 標準施工仕様

### ●鉄鋼・コンクリート構造物仕様

工 程	商品名	色相	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	標準膜厚 ( $\mu$ )	施工方法	施工間隔 (23℃)
下地処理	鉄鋼構造物	海藻類・貝類の付着が多い場合はスクレーパー等でかきおとして下さい。 素地調整程度1種(錆、旧塗膜を完全に除去し鋼材面を露出させる。)にて処理して下さい。 塗布前にはマジックロン等で戻り錆・海中微生物等を除去して下さい。				直ちに
	コンクリート構造物	下地コンクリートの浮き、脆弱部、レイトンス、油類等は除去して下さい。 露出鉄筋部分は錆を落とし、防錆材などによる防錆処理を行います。 コンクリート欠損部に関しては、協議のうえ適切に処理を行って下さい。(注意4)				
第一層目	パーミクロンガードL	ブルー グレー クロ	1.00	500	刷毛 ローラー	16H~3日
第二層目	パーミクロンガードL	ブルー グレー クロ	1.00	500	刷毛 ローラー	

(注意1)硬化中に水がかかった場合は、白っぽく仕上がります。

(注意2)必ず各工程毎に、清掃を兼ねてマジックロン等で目粗しをした後、水拭きして下さい。

(注意3)耐候性、美観が必要な場合は、別途上塗が必要となりますので、ご相談下さい。

(注意4)コンクリート躯体に直接塗装する場合は、躯体と塗膜の間に空隙がでやすく、水蒸気が塗膜を持ち上げ膨れやピンホールが発生します。骨材既調合のパーミクロンガード SP(素地調整材)を使用する事により、巣穴へ入り込み膨れやピンホールを軽減する効果が得られ、防食工事の品質確保に貢献出来ます。